



北九州 GX 推進コンソーシアム設立 1 周年記念「北九州 GX DAY」に参加しました

2024 年 11 月 26 日(火)、北九州 GX 推進コンソーシアム設立 1 周年記念「北九州 GX DAY」(北九州 GX 推進コンソーシアム総会&FDSF Japan Tour 2024、GX 推進機構後援)に登壇しました。

GX 推進機構は、北九州 GX 推進コンソーシアム設立 1 周年記念「北九州 GX DAY」(北九州 GX 推進コンソーシアム総会&FDSF Japan Tour 2024、GX 推進機構後援)に登壇しましたので、概要を公表します。

1. 北九州 GX 推進コンソーシアムについて

北九州市は、1901 年の官営八幡製鐵所での生産開始以降、日本の産業を牽引してきましたが、1960 年代、「ばい煙の空」と呼ばれた北九州地域の大气汚染は国内最悪を記録、洞海湾は工場廃水により「死の海」と呼ばれるなど公害問題に直面しました。そのため、北九州市は、公害克服に取り組むとともに、早くから響灘地区に様々なリサイクル事業を誘致し、更に大規模な洋上風力プロジェクト(9.6MW×25 基)を推進(2023 年着工、2025 年運転開始予定)するなど、環境分野に長年に渡って注力し、環境モデル都市、環境未来都市、脱炭素先行地域等に選定されています。

こうした中、北九州市は、カーボンニュートラルへの変革を成長の好機と捉え、地域企業の成長と技術革新に向けた研究開発を強力に推進するため、「北九州 GX 推進コンソーシアム」を 2023 年に創設しました。



北九州市響灘地区では、着床式洋上風力の建設が進捗(11 月 25 日撮影)。中央は、杭打ち、クレーン作業等の自己昇降式台船(SEP 船)。両隣は着床式洋上風力の土台部分(ジャケット)。



2. 「北九州 GX DAY」登壇概要

(1) 基調講演「GX(グリーン・トランスフォーメーション)とサステナブルファイナンスの推進」

〔登壇者〕 GX 推進機構 理事 高田英樹

(2) パネルディスカッション「国内外の GX 投資を北九州市に呼び込むためには」

〔参加者〕 パネリスト: 北九州市長 武内和久氏
三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング フェロー 吉高まり氏
早稲田大学大学院 教授 博士(工学) 三宅丈雄氏
北九州市立大学 教授 博士(工学) 松本亨氏
FDSF 代表理事 小野塚 恵美氏
西原商事 常務・企画部長 成田詩歩氏
GX 推進機構 理事 高田英樹

モデレーター: 北九州産業学術推進機構(FAIS) 部長 三戸俊和氏

(パネルディスカッションにおける主な意見)

- ・ 北九州市に国内外の GX 投資を呼び込むために、企業の開示内容の透明化など大企業から中小企業まで厚みのある取り組みが必要である。
- ・ 市民の意識を変え、行動変容を促進するためには、市民に投資を通じて GX に参画してもらうことも有意義である。
- ・ 機関投資家と個人投資家向けのサステナビリティ・ボンドである「北九州市 SDGs 未来債」の発行を継続することや、海外投資家を呼び込むために、観光や文化など地域の魅力を アピールする、他都市と連携し九州全体としての PR を行うことなども考えられる。



(本発表資料のお問合せ先)

脱炭素成長型経済構造移行推進機構
担当者:財務・サステナビリティ推進部
高林、天達、清水

メール:gx_acceleration_agency★gxa.go.jp
※[★]を[@]に置き換えてください。